

○第39回たておう合同学習会アンケート結果報告

日時: 令和8年7月21日(火) 13:30~15:00

会場: 邑楽町役場 3 階大会議室

演題: 「『身寄りがない』にどう向き合うか〜保証人・お金・亡くなった後のことまで〜」

講師: 一般社団法人福祉ネットいつの和 代表理事 社会福祉士 主任介護支援専門員
須田 和也 様

参加人数: 78名 アンケート回収枚数: 68枚 アンケート回収率: 87.2%

参加者の職種: 主任介護支援専門員…8名 介護支援専門員…46名 看護師…6名
保健師…4名 社会福祉士…5名 MSW…2名 介護福祉士…3名
支援相談員…1名 施設長・管理者…1名 行政事務…2名

1. 本日のミニ講演会は、いかがでしたか?

【全体を通しての感想】

- ・とてもわかりやすかった。 8件
- ・とても難しい内容だったが参考になった。 4件
- ・とても勉強になった。 4件
- ・日頃の実践を振り返る機会になった。
- ・実務に活かせる内容だった。
- ・独居は正にこれからの問題。いろいろ考えさせられていい勉強になった。
- ・親身になって考えられる避けられないテーマだと思った。
- ・専門職として身近な問題だった。
- ・将来的に訪れる未来でもあるため、難しいととらえず前向きに検討していきたい。
- ・実務をされている方の話なので具体的にイメージすることができた。
- ・具体例を示して頂けたら尚よかったと思う。
- ・事例も聞きたかった。

【身寄りがないに視点を当てた感想】

- ・身寄りがない方が増えているのでとても勉強になった。 3件
- ・身寄りの居ない高齢者が増加している中で、任意後見人を希望される方も担当する機会がある為、とても参考になった。
- ・身寄りがない利用者にどう対処するか直面することがあり、悩む事例であり参考になった。
- ・非常に参考になった。様々な職種の方が「身寄りがない」方の対応に課題を抱えていることが理解できた。行政の立場から何らかの協力ができれば良いと思う。
- ・身寄りがない方の支援は今後増えていくと考えられるため、多職種チームと連携して何ができるか考えながら支援していきたい。
- ・身寄りのない人への考え方が職種によって見方が違うことが分かった。多角的に対応できるようにしたい。
- ・身寄りがない方が増えてきているので、誰がどう支援していくかを改めて考え直す良い機会になった。どういった職種が担えるかをまた勉強していきたいと思う。
- ・独居で身寄りがなく、認知症の方が急に病気になるって事はよくある。そういう方に限って主治医がいなかったり、救急車で搬送される時、ケアマネが同乗する機会が多いわけで本当に考えさせられるテーマで役に立った。答えがないから難しい。

【一人で抱え込まない、役割分担に視点を当てた感想】

- ・一人で抱えこまず、分離して考える事、チームで検討していく事が大切と感じた。 2件
- ・増え続ける独居高齢者の身元引受、意思決定で困る場面が増えているので、1人で抱え込まない大切さを改めて知ることができて有意義な時間だった。 2件
- ・分解して役割分担すると聞いて納得だった。
- ・役割の分担ができるように自分の視野を広げて考えていきたいと思った。
- ・身寄りがいない方が増える中で支援をしないわけでもなく、1人で抱えるわけでもなく、チームで考え役割分担をできる事が大切だと感じた。
- ・身寄りがいない方への対応は皆困っていることなんだと少し安心した。一人で抱え込まず周囲に相談しながら協力して支援をしていければよいと思った。
- ・身寄りがいない方の支援は施設入所のケースでも増えているので、後見人制度や日常生活自立支援制度などを活用して施設内だけで抱え込まないようにしたいと思った。
- ・断らない、本人が原点、抱え込まないの考え方は新鮮だった。
- ・それぞれの職種で抱え込んでいる問題がある。今日の講演を聞いて、あっと思う事があった。解決に向け、ヒントをいただいたように思った。
- ・今後身寄りのない方は増えると思う。私自身も制度や横のつながりを増やすことが必要だと感じた。社協や包括に相談や協力ができると知れて良かった。「断らない」でチームの力を出せると思った。
- ・相談できる場所を知っておくことや制度を理解することも必要。

【シャドーワークに視点を当てた感想】

- ・シャドーワークの見極め、仕分け、分け合う。適切な職種が適切な量を抱える。自分が仕事を続けていくためにも大切だなと感じた。
- ・シャドーワークをどう改善していくか、改めて考えさせられた。
- ・普段モヤモヤしているシャドーワークについて思考の整理につながった。
- ・シャドーワークでも全部背負うも一切やらないも違うと改めて認識できた。多職種、チームでの支援が大切になると感じた。
- ・シャドーワークについて悩んでいたので学ぶことができてよかった。身寄りがいない方のシャドーワークが大きく普段から負担を感じている。
- ・シャドーワークについて、現状ケアマネだけが背負っている。善意につけこまれている。チームでというが、結局ケアマネに情報だけ入れて「あとはよろしく」が多い。
- ・金銭的に余裕のない場合はケアマネがシャドーワークをやらざるを得ない。(自費サービス使えない)書類、手続等課題がたくさんあると改めて感じた。

【制度に視点を当てた感想】

- ・何回か後見人について勉強させていただいたが、保証人、後見人、死後事務手続等、難しい事が改めて学習できた。どの行政が担当になったとしても結局、ケアマネが無償で動くことになる。若いケアマネがいない理由の1つかも…。
- ・独居等在宅の方への問題点である、保証人、後見人の話が何え参考になった。
- ・後見人制度について知れてほっとした部分があった。民間サポート事業の落とし穴を考えたことがなかったため知れて良かった。
- ・ケアマネとして制度やサービスにつなげる役割はとても重要だと思った。
- ・身近なケースから改めて考える機会ができた。本人たちに伝えるタイミング(制度)も難しいと感じている。希望があればよいなと思う。任意後見から開始ができれば安心して生活が送れると思う。
- ・病院を離れてしまうとその後のその人の残された財産や生活がどのようになったのかどの手続きがあったなど知らないことが多かったので最期までどうであったのか知ることができてよかった。

- ・今後ますます需要が多くなることなので、制度が変わる都度お願いしたい。
- ・リバースモーゲージなど知らない情報も得られて良かった。ありがとうございました。
- ・医療同意について学べて良かった。日々の業務で身寄りがいない方を担当した際、今回の研修で学んだ事を活かしていきたい。令和8年社会福祉法改正に期待したい。

【グループワークに視点を当てた感想】

- ・多職種の方と意見交換ができて大変勉強になった。 6件
- ・多職種（病院関係者等）の意見交換が色々な角度からの意見があり参考になった。 5件
- ・グループワークで難しい課題を多職種で話せて勉強になった。 2件
- ・現在受け持っている利用者も事例と同じ状態でありとても参考になった。 2件
- ・グループワークでは実務の中でどんなサービス、職種、社会資源を活用したか具体的な話が聞けてよかった。
- ・病院のSW、包括、他事業所のケアマネとグループワークができ、わかってはいたが皆さんの仕事を深く知ることができた。
- ・ケアマネの仕事の現実は知ることができた。このようなグループワークを地域でもっと増やしてほしい。制度を作してほしい。ありがとうございました。
- ・多職種と事例を通してたくさんの意見を知ることができた。入院時からその人にとって何が良いのか考えながら動くことが大切だと思った。
- ・現場では身寄りがいない方が実際に多い。グループワークで一緒になった方も悩みや良い方法を考えようとしていることがわかり共感できた。
- ・同席した方が全員ケアマネだった。グループワークでは個々の思う事を発言したが、普段から手探りで前進しているんだと感じ取ることが多く安心したのと、より学んでいきたいと思った。
- ・グループワークをする時にもう少し詳しい事例がほしいと思った。
- ・事例検討はもう少し時間があればよかった。

【その他の感想】

- ・もっと深いところ（具体的というか）を知りたいと思う。システムとして今後どうなるのでしょうか。
- ・大変良かった。緊急時は救命を優先（医師の判断・推定的承諾）との事でやはり本人の意思が大切だと思う。

2. 今後、企画してほしいテーマ等ございましたら、ご記入ください。

- ・社会福祉法の改正点
- ・それぞれの職種の役割、分担確認
- ・身寄りがいない方の死後の具体的なサービス、支援を知りたい
- ・家財処分をどうしているか
- ・ICT の利用法
- ・セルフネグレクトへの対応
- ・臨床心理士の話（実際死期が迫っていて本人がすごく怖い思いをしている方を目の前にした時、臨床心理士の力を借りられるといいのかなと思う事がある。実際どのような話をしているのか自分が聞いてみたい）
- ・カスハラ対策
- ・介護、看護職員へのハラスメント対策
- ・利用者、家族からのハラスメント対策（パワハラ・セクハラ等。若い方こそイライラをぶつけてくることがある）
- ・在宅支援の困難事例を紹介してほしい

- ・ケアマネ業務の簡潔化について（AI を使ってケアプランとか）
- ・虐待
- ・家族の精神疾患、社会とのつなげる方法
- ・障害者総合支援法について
- ・障害サービスと介護保険サービス
- ・ケアプランデータ連携システム
- ・災害について
- ・災害時ケアマネとしての支援
- ・意思決定支援
- ・認知症の治療法について（初期段階から投薬と効果についてなど）
- ・口腔ケア、リハビリと認知症や介護予防の話
- ・地域生活定着支援センターの話（地域でどんなサポートが必要か）
- ・高齢者虐待の事例検討会
- ・ヤングケアラーについて
- ・BCP、感染症、図上避難訓練等
- ・8050問題
- ・特定疾患についての講義
- ・オレオレ詐欺について（撃退法）
- ・高齢者の住まい問題
- ・社会資源インフォーマルサービス関係
- ・熱中症予防（ますます暑くなり、高齢者の方の熱中症にならないようにするにはとか。けっこう夜間のトイレが心配で水分を取らない方が多い。エアコンもない人もいる。）
- ・外国の方への支援（最近外国の方が増えている。認知症はないが日本語があまりわからず、頼りになる親族が身近にいないなど）
- ・在宅でどこまで拘束できるのか
- ・関わらない家族とどう関わればいいのか
- ・いろいろなテーマで多職種とのかかわりが持てる機会があればまた参加したい。

3. その他、参加してお気づきの点がございましたら、ご記入ください。

- ・事例の時に気づいたが、今後、市で独居の方の個人情報を書類にし提供できる用紙を作成してもらいたい。
- ・とてもわかりやすい学習会だった。
- ・またこのような学習会に参加したい。
- ・いつもありがとうございます。
- ・たておうちに身寄りがいない方の制度について活用できる制度を HP にアップしてもらいたい。自分はケアマネをしているがどのような制度があるか分からない。
- ・6人中5人が同じ事業所のケアマネだったので、意見は共通してまとまっていたが、話が先に進まなかった。自由席より色々な職種が集まるように配置した方がよかったのではないかな。
- ・グループワークはあまり希望しないがやるなら席を指定した方がよいのではないかな。同じ事業所全員で同じ席に座っていた。
- ・話し合いの形式上グループ分け（多職種）をしていただけるとよい。
- ・グループワークはとても苦手で精神的に苦痛だが今回自由席という事でとてもありがたいと思った。
- ・暑いです